		介和5年度	(令和4年度実	施事業分)主	要事業評価シ	-ト		No.		1-2
CA	主要事業名	4	公共交通対策事	業	部課名	建設部都	市計画課	担当	_	源
<u> </u>		<u> </u>			нь туп	AEDA HP HP		内線	4	<u>46</u>
)	総合計画: 全体事業期間会計	4 - 2 - 3 単位施策: 移動環境 間: 令和 4 年度 全体事業費等: 136,968 千円 一般会計 歳出科目: 07.05.01.03.50								
総合計画との関係性と予	事業概要等	市民の移動手段の1つとして公共交通バスの運行を維持確保するもの。地区路線A 事業概要:「ごんくる」・地区路線Bの運行と基幹路線バスへの運行経費等補助のほか、交通空 白地域の解消に向けた取組の実施を図る。 少子高齢化や単身世帯増加など時代背景から予測される移動需要の高まりを見据								目相工
	子来顺文·5	事業目的: ラナー同島のにマーダビ市場加なと時代自豪からア烈される参勤需要の高まりを見描え、市民の暮らしの足の維持、確保を目的とする。 地区路線A・Bの運行、バス事業者への運行経費等補助、交通空白地域の解消に向けた取組、公共交								E
		事業内容: 通会議の運営と広報、バス環境維持整備、半田市地域公共交通網形成計画の期間延長に伴う見直しを実施する。 問題点: 関限的なる日が原の範囲で、古内全地域が以上での差尺度と納得感で延伸しただける効							算見積書で	うりまし
Ž		問題点・課 限りある財源の範囲で、市内全地域から一定の満足度と納得感で評価いただける効題等: 率的な運行の仕組みや路線の確立が課題となっている。								
Ž L	予算額 136,968 千円 財源内訳	主要事業とする理由 移動しやすい環境は、豊かで活力のある市民生活を支える基盤であるため。							活用	- E
	市費 126,519 千円 国費	得られる成果 公共交通バス環境の維持と向上により市民の暮らしの足を確保することで、だれもが生活しやすい								1
	0 千円	まちづくりにつながる。						単位		E
	1,949 千円			実績値	831	919	市和4年度	人/日		
	1,949 113	市内路線/	バス利用者数	目標値 実績値	1,700	1,012	1,113	人/日		
	7 m/m			目標値	1		1			Ш
	その他 8,500 千円			実績値 目標値						
_	1	得られた成	<u></u>							<u> </u>
一) 得ら	8,500 千円	基幹路線	果 バスへの運行経費 新規導入により市	目標値 賃等補助や既						
得ら	8,500 千円 決算額	基幹路線	バスへの運行経費	目標値 賃等補助や既						
得	8,500 千円 決算額	基幹路線/ 通手段の第 成果指標	バスへの運行経費	目標値 賃等補助や既		ることで、暮ら 実績値	しの基盤として 令和4年度 931	貢献した。 単位 人/日		
得られ	8,500 千円 決算額	基幹路線/ 通手段の第 成果指標	バスへの運行経費 所規導入により市	目標値 賃等補助や既		ることで、暮ら	しの基盤として 令和4年度	貢献した。 単位	主	
得られた成果と	8,500 千円 決算額	基幹路線 通手段の第 成果指標 市内路線	バスへの運行経費 所規導入により市	目標値 賃等補助や既		ることで、暮ら 実績値	しの基盤として 令和4年度 931	貢献した。 単位 人/日	主要施	1
得られた成果	8,500 千円 決算額	基幹路線が通手段の発成果指標市内路線が 市内路線が 地区路線A 運賃を無知の 本キャンペー 有脇地区で	バスへの運行経費 所規導入により市	目標値 賃等補助や既 「民の移動の反 のバス利用によ な4か月間限な 切めてバスを利力 て利用された方 したおでかけタグ	2を確保維持する る将来的な習慣 で市内8路線の 用する方も増え、 で等を、どのように ジー制度は、電	まれていることで、暮らまれていることで、暮らまれている。 実績値 目標値 がに資するため、 連賃無料をできる。 がよりであるため、 では、これではある。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	の基盤として 令和4年度 931 1,113 か、これまで有料が キャンペーンを展 を拡大することが が課題である。	貢献した。 単位 人/日 人/日 ごった小学生の 開したことで、 できた。今後は	要施策の成果報告	
【得られた成果と ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ 課題解決	8,500 千円 決算額 147,956 千円 事業の	基幹路線が 成市 大学	バスへの運行経費 所規導入により市 バス利用者数 ごんくるで、年少時に 認知をきっかけに導わして 認知をきっかけに導え 説い物、通院を目的 さいては、利用を低 ないでは、利用を低 ないでは、利用を低 ないでは、利用を低 は、は、 にとしては、 は、 にとしては、 は、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	目標値 費等補助や既 所によりでは、 のバスを動のが のバスを動のが、 利用間によりが のが、スカースを利力である。 として、高齢者 で、利用である。までで、利用をある。までで、利用をある。までで、利用をある。までで、和7年度の	さを確保維持する将来的な路線の おいまであったがいます。 おいまであるからでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	まれている。 実績値 目標値 目標値 別化に資するため 運賃無料である。 では、アスの利用 れている。 を通じたバス情報 を実証実験し、 路線については	いの基盤として 令和4年度 931 1,113 0、これまで有料だ ローンペーンを展 を拡大することがが課題である。 が不便な地域の 級の発信強化、は 本格導入に向い 、地元パス会を近	重献した。 単位	要施策の成果報	化工 目 ~ 沙 算 田 (化
【得られた成果と 【 】 果園)を里 【 課題解決に	8,500 千円 決算額 147,956 千円 事業の 評価・課題	基幹の発力を表する。 基幹の発力を表する。 基幹の発力を表する。 基本を表する。 基本を表する。 基本を表する。 基本を表する。 基本を表する。 基本を表する。 のでで、 のででで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のででで、 のででで、 のでで、 のででで、 のでででで、 のでででででででででで	バスへの運行経費 折規導入により市 バス利用者数 ごんくるで、年少時に ごんくるで、年少時に でいては、11月しいが 18月から本格等 18月から本格等目的 は、物、通院を目的 は、地区路には、横川地区は、地区路には、横川地区は、横川地区は、横川地区は、地区路にを は、地区路になるによった。 は、地区路にある。 は、地区路とか、地区をか、地区をか、地区をか、地区をか、地区をか、地区をか、地区をか、地区を	目標値 費等補助や既 所によりでは、 のバスを動のが のバスを動のが、 利用間によりが のが、スカースを利力である。 として、高齢者 で、利用である。までで、利用をある。までで、利用をある。までで、利用をある。までで、和7年度の	る将来的な習慣でである。 る将来的な路線の、 であたりをいいである。 でありましたでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	まれている。 実績値 目標値 目標値 別化に資するため 運賃無料である。 では、アスの利用 れている。 を通じたバス情報 を実証実験し、 路線については	の基盤として 令和4年度 931 1,113 か、これまで有料が はキャンペーンを展 を拡大することがが がが課題である。 が不便な地域の 般の発信強化、は 、地元パス会を近 たな交通手段の	貢献した。 単位 人/日 人/日 一人/日 ごった小学生の 説開したことで、 できた。今後は 生活の足とし 地元バス会との がた取り組み案を り確保を図るた	要施策の成果報告書で活	化工 目 ~ 沙 算 田 (化
【得られた成果と ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ 課題解決	8,500 千円 決算額 147,956 千円 事業の 評価・課題	基幹の発力を表する。 基幹の発力を表する。 基幹の発力を表する。 基本を表する。 基本を表する。 基本を表する。 基本を表する。 基本を表する。 基本を表する。 のでで、 のででで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のででで、 のででで、 のでで、 のででで、 のでででで、 のでででででででででで	バスへの運行経費 が規導入により市 が規導入により市 バス利用者数 ごんくるで、年少時に で、11向上に初め で、8月からは、1 ではいりにである。 ではいりでは、利用を低いでは、1 ではいりでは、利用を低いでは、1 ではいりでは、利用を低いでは、1 ではいりでは、1 ではいいりでは、1 ではいりでは	目標値 費等補助や既 所によりでは、 のバスを動のが のバスを動のが、 利用間によりが のが、スカースを利力である。 として、高齢者 で、利用である。までで、利用をある。までで、利用をある。までで、利用をある。までで、和7年度の	記を確保維持する将来的な習慣である。 る将来的な路線の、 でであったのは、 等を、どのは、 等を中心に重宝さる。 を中心に重なる。 かけタクシーやのいで、 かけタクシーやのいで、 かけのがで、 がはいる。 有効性の の貢献	まれている。 実績値 目標値 目標値 別化に資するため 運賃無料である。 では、アスの利用 れている。 を通じたバス情報 を実証実験し、 路線については	の基盤として 令和4年度 931 1,113 か、これまで有料が はキャンペーンを展 を拡大することが が課題である。 が不便な地域の 級の発信強化、は 、地元バス会を返 たな交通手段の でコスト削減	貢献した。 単位 人/日 人/日 一人/日 ごった小学生の 説開したことで、 できた。今後は 生活の足とし 地元バス会との がた取り組み案を り確保を図るた	要施策の成果報告書で活	三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二